

口羽公民館だより

口羽地区の人口と世帯数 (2022/12/31 現在)

男性 314 人 女性 340 人 世帯数 331 戸

電話 : (0855) 87-0910

IP : 050-5207-6600



1月号 (発行 2023年(令和5年)1月17日)

口羽公民館長から新春の御挨拶

口羽公民館長 種文昭

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、口羽公民館の活動につきまして何かとご理解・ご協力を頂きましたこと厚く御礼申し上げます。

さて、昨年も引き続きコロナ禍での一年となりました。コロナワクチンの集団接種も、羽須美地域では口羽公民館を会場として三回実施されました。そうした中で、少しずつではありますが、これまでの公民館活動に近づくよう事業を実施してまいりました。具体的には、口羽地域学習会と題して口羽小学校の児童の皆さんに口羽の魅力を知ってもらう講座、各種映画上映会、シニアスマホ講座、口羽氏の歴史入門講座、琵琶甲城登山、更に根布集落出身の竹部敦司さんの「あっちゃんの寺子屋」などを実施いたしました。

また、各種サークル活動の皆さんには年間通してほぼ休まず活動を続けていただいたことは公民館の賑わいづくりにつながっております。ありがとうございます。

本年も、口羽の地域づくり、賑わいづくりの拠点となるよう職員とともに努めてまいりますので一層のご指導・ご鞭撻をお願いいたします。

終わりになりましたが、本年が皆様にとって健康で幸多い年になりますよう祈念いたしまして新年のごあいさついたします。

あっちゃんの寺子屋を開催しました

1月13日(金)午後1時半から、今回で5回目となった「あっちゃんの寺子屋」を開催しました。「20回も歌われなかった平成の名曲」「昨年4月の「昭和の名曲を味わう」純愛」に続く名曲シリーズです。美空ひばりさんの「川の流れるように」を取り上げられました。自然と一緒に歌い出される方が多数おり、昭和の歌姫に圧倒される感動しました。次回の「桃太郎の味方の見方」は3月1日に開催します。



秋元康さんの作詞を美空ひばりさんは「私の人生そのものを歌わせてもらえるような曲」と言っていたそうです。



さあ、竹を切るぞ～最初はのこぎりのひき方に苦労しましたが、習いながら切りました。

恒例の門松づくり挑戦
12月26日(月)に門松づくりをおこないました。今回は小学生も参加してミニ門松を作り、竹を切る体験をしました。門松は1月8日(日)の根布集落のどんど焼きで焚き上がりしました。

「教えて消防士さん」を開催
冬休み前の12月12日(月)15時半から口羽地域学習会として消防羽須美出張所からの出前講座を利用し、冬に備えて火災を中心にしたお話で口羽小学校にある消防設備について詳しく学びました。口羽公民館の避難経路の確認もして、非常時の動きを学びました。



新春に20歳の節目を祝う
1月3日(火)午前11時から元氣館ではたちを祝う式典が開催されました。成年者代表として羽須美地域の永井佐希さんが記念品受賞、谷出海さんが成人者誓いのことばを述べられました。皆さん、おめでとうございませう。未来に向かい幸多かれ！

羽ばたけ、須べからく美しく！！

公民館大掃除をおこないました
12月21日(火)、12月22日(水)の午前9時半から口羽公民館の大掃除を各サークルの皆さんとおこないました。年末の時期に、ありがとうございました。

口羽通良入門講座の2回目を開催！
1月21日(土)午後1時半から「通良が『御四人』に加えられた」と題し、はすみ史楽会会長、日高亘さんを講師に迎え、入門講座の第2回目を行います。毛利元就亡き後に「琵琶甲城主」口羽通良が『御四人』に加えられ、亡くなるまでを学びます。地元戦国武将を知りましょう

羽須美地域人権研修を開催します
2月13日(月)午後1時半から元口羽小教諭山口明彦さんを講師に迎え、人権研修を開催します。同和問題の歴史について改めてみんなで学びましょう。参加よろしくお祈いします

【編集後記】

新年明けましておめでとうございます。移動制限が撤廃されたので、皆様も本当に久しぶりの再会もあつたでしょう。ぜひ良い年になりますように 今手景祐

—2月行事予定—

- ※毎月1日「交通安全県民の日」
- 8日(水) オレンジカフェおおなん
- 9日(木) いわみマルシェ
移動職業相談
- 13日(月) 羽須美地域人権研修会
口羽公民館活動推進協議会
- 17日(金) 所得の申告相談
- ※毎月19日「食育の日」
- 20日(月) 所得の申告相談
- 24日(金) 移動職業相談
- 25日(土) Weフェス！(元氣館)
- 27日(月) ひらめき学級
- *毎週火曜日 グラウンドゴルフ練習会
リゾートセンター広場又はわんぱく館